

3 国有林の概要

(1) 人工林・天然林別内訳

置賜森林管理署は、この地域の国有林約77,000haを管理しています。そのうち、人工林が約7,000ha（9%）、天然林が約64,000ha（83%）とその多くが天然林で占められています。

また、ha当たりの蓄積は、人工林が171m³、天然林が67m³となっています。

区分	林種		面積		蓄積（千m ³ ）		
			（ha）	割合	針葉樹	広葉樹	計
林地	立木地	人工林	7,093	9	1,192	21	1,213
		天然林	64,102	83	379	3,958	4,337
	無立木地		27	0			
	計		71,221	93	1,571	3,979	5,550
林地以外			5,564	7	0	0	1
合計			76,785	100	1,571	3,980	5,551

- (注) 1. 置賜森林管理署第3次国有林野施業実施計画による。
2. 端数処理の関係で計が一致しないものがある。

(2) 市町村別内訳

管内3市5町の国有林面積等と各市町別の国有林の特徴は、以下のとおりです。

区分	米沢市	南陽市	高畠町	川西町	長井市	白鷹町	飯豊町	小国町	置賜計	山形県
人口 (人)	90,258	34,126	25,242	17,584	29,642	15,462	8,110	9,095	229,519	1,179,964
総面積 (HA)	54,874	16,070	18,004	16,646	21,469	15,774	32,960	73,755	249,552	932,346
林野面積	41,988	9,560	10,411	7,870	14,850	10,202	27,787	69,439	192,107	668,504
国有林面積	9,468	283	1,343	167	8,909	721	5,932	49,962	76,785	353,712
国有林割合	17	2	7	1	42	5	18	68	31	38
官造面積	409	21	263	-	31	260	56	436	1,477	

- (注) 1. 人口及び総面積は、山形県勢要覧（H22年刊 H21. 10. 1現在）による。
2. 林野面積は、山形県林業統計（H18年度 H19. 3. 31現在地域森林計画）による
3. 国有林面積、官造（官行造林地）面積は、置賜森林管理署第3次国有林野施業実施計画による。
4. 割合は、市町面積に占める国有林面積の割合である。

米沢市

総面積の76%が森林で、国有林がその23%を占めています。

米沢市の国有林の大部分は、保安林整備臨時措置法に基づき昭和29年以降に買い入れた国有林がほとんどで、市南東部にある吾妻山系の北部、最上川源流部に位置しています。

原生的な天然林が多く、平成7年に「吾妻山周辺森林生態系保護地域」に設定されています。また、磐梯朝日国立公園にも指定されています。

天元台地区は、「野外スポーツ地域」に指定しており、登山客やスキーヤーが年間を通じて訪れています。また、白布峠を経て福島県に至る吾妻スカイバレー周辺は、多くの人々に利用されていることから「吾妻スカイバレー風景林」に指定して景観維持に努めています。



天元台スキー場

南陽市

総面積の約59%が森林で、国有林がその3%を占めています。

南陽市の国有林は、市北部の水林地区にあり、全域が水源かん養保安林に指定されており、豊富できれいな水の確保に役立っています。

当地は、吉野川の源流部で、江戸の頃より米沢の上杉藩が「御料林」と定め、下流の水源確保に努めた歴史があります。



南陽「水林国有林」

高畠町

総面積の約58%が森林で、国有林がその14%を占めています。

高畠町の国有林の大部分は、町の東部、奥羽山系の西部に位置し、龍ヶ岳から豪士山にかけて県立自然公園に指定されています。

全域が水源かん養保安林や土砂流出防備保安林に指定されており、水源の確保や国土の保全等に貢献しています。

福島県福島市に通じる鳩峰峠付近の広葉樹天然林は、優れた森林景観を有しており、「鳩峰風景林」として多くの人々に憩いの場として利用されています。

川西町

総面積の47%が森林で、国有林がその2%を占めています。

それら国有林は、町の南部浅俣地区に位置し、米沢市に接しています。

浅俣のヒメコマツは、低山(360~470m)に群生している貴重な天然林であることから、「植物群落保護林」として保護しています。

長井市

総面積の約69%が森林で、国有林がその61%を占めています。

長井市の国有林は、市の西部、朝日山系の東部に位置しています。

野川上流部は「野川風景林」に設定され、木地山ダムからの景観は多くの人々に親しまれています。

これらの全域が土砂流出防備保安林や水源かん養保安林に指定されており、複層林施業等の公益的機能を重視した森林整備に努め、国土の保全と下流住民に豊富できれいな水を供給しています。

白鷹町

総面積の約65%が森林で、国有林がその9%を占めています。

白鷹町の国有林は、町の西部に位置し、葉山及び藤堂山の東部に位置し、朝日町に接しています。

全域がブナやミズナラを主とする広葉樹天然林で、水源かん養保安林や土砂流出防備保安林に指定されており、水源の確保や国土保全に貢献しています。

飯豊町

総面積の約84%が森林で、国有林がその22%を占めています。

飯豊町の国有林は、大部分が町の南部、白川の源流部に位置し、福島県に接しています。

これら森林は、ほぼ全域が水源かん養保安林や土砂流出防備保安林に指定され、公益的機能の発揮等の役割を果たしています。

「大日杉野営場」は、「森林スポーツ林」に指定され、地蔵岳から飯豊本山に至る縦走コースの登山基地となっています。また、地蔵岳周辺の優れた山岳景観は「飯豊風景林」として森林レクリエーションの場として活用されています。

小国町

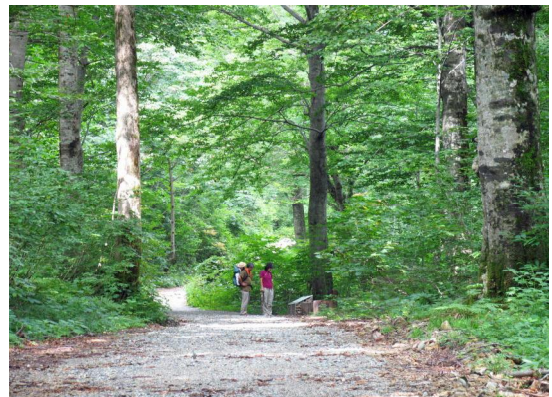
総面積の約94%が森林で、国有林がその72%を占めています。

小国町の国有林は、町の全域に分布し、北部地域の森林は朝日山系の南側に位置し新潟県と、南部地域の森林は飯豊山系の北側に位置し新潟県及び福島県と接しており、両山系とも磐梯朝日国立公園に指定されています。

平成4年に「飯豊山周辺森林生態系保護地域」、平成15年に「朝日山地森林生態系保護地域」が設定され、原生的で多様な森林と野生動植物の保護に努めています。

また、温身平風致探勝林など5箇所が森林とのふれあいの場として、自然景観を維持しつつ活用されています。

この温身平は、平成18年に森林セラピー基地に認定されており、小国町は、施設整備や受入体制の整備等、森林セラピー基地づくりを進め、利用者の増加をめざしています。



森林セラピー基地 温身平

ぬくみだら 森林セラピー基地 温身平とは

森林セラピーは、森が持つ癒し効果をストレス解消や健康増進に役立てようとするものです。

平成22年4月現在、全国で森林セラピー基地38箇所、セラピーロード4箇所が認定されています。小国町が申請した「ブナの森 温身平」は、第1期に認定されています。

温身平は、飯豊連峰北側の山麓の溪流沿いにあり、風致探勝林55HAを含む当該地域の面積は約300HA、その大半が国有林であり、ブナを中心とする天然林が広がっています。飯豊連峰への登山口でもあることから、観光や登山等の目的で多くの人々が訪れています。

※「森林セラピー」は森林セラピー研究会の登録商標です。

(3) 制限林等の概要

ア 保護林及び緑の回廊

管内には、貴重な野生動植物が生息・生育するなど豊富な森林生態系を有するブナ林等の天然林が多く、国有林の3分の1が保護林に設定されています。

特に、森林生態系保護地域は、原生的な森林生態系を保存することにより、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、森林施業・管理技術の発展、学術研究等に資するため、設定するものであり、管内には、「飯豊山周辺森林生態系保護地域」、「吾妻山周辺森林生態系保護地域」及び「朝日山地森林生態系保護地域」の3箇所が設定されています。

また、これら保護林を連結する緑の回廊として、「鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊」が設定されています。

【保護林の内訳】

保護林の種類	箇所数	面積 (HA)
森林生態系保護地域	3	24,878
林木遺伝資源保存林	1	1
植物群落保護林	4	1,059
郷土の森	1	185
計	9	26,123

【森林生態系保護地域の内訳】

(千ha)

区分	朝日山地	飯豊山周辺	吾妻山周辺	計
東北森林管理局	48	11	4	63
置賜森林管理署	10	11	4	25
その他	38	-	-	38
関東森林管理局	22	18	8	46
計	70	29	12	109

【鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊の内訳】

区分	延長 (km)	面積 (千ha)
東北森林管理局	235	47
置賜森林管理署	65	11
その他	170	36
関東森林管理局	25	17
計	260	64

「保護林」とは

国有林は、奥地脊梁山地に広く分布しているため、優れた景観を有し、多様な動植物が生息・生育している原生的な天然林が多くあります。それらの森林を保護するため、「保護林」を設定しています。

保護林には、森林生態系保護地域、森林生物遺伝資源保存林、林木遺伝資源保存林、植物群落保護林、特定動物生息地保護林、特定地理等保護林及び郷土の森の7種類があります。

「緑の回廊」とは

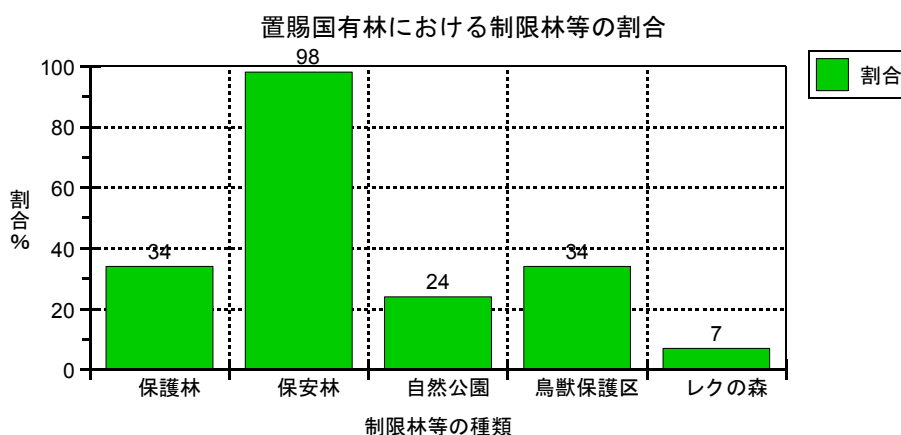
森林生態系保護地域をはじめとする保護林のネットワークを形成し、野生動植物の移動の経路の確保、生息・生育地の拡大と相互の交流を促すため、設定されています。

イ その他の制限林等

管内の国有林は、最上川と新潟県に流れる荒川の源流部の重要な水源地帯に位置し、水源のかん養や土砂流出防備等に大きな役割を果たしていることから、国有林の98%（平成19年度末）が保安林に指定されています。

また、ブナなどの天然林等が森林面積の90%を占めており、それらの森林が朝日連峰、飯豊連峰及び吾妻連峰の2千m級の山々に連なって雄大な景観を呈していることから、国有林の22%が磐梯朝日国立公園に指定されています。

そのほか、鳥獣保護区やレクリエーションの森などが指定されています。



保安林種類別面積

H18. 3. 31現在

区分	水源かん養	土砂流出防備	干害防備	なだれ防止	保健	合計
面積	63,354	(10,463) 11,646	502	(465) 55	(266)	(11,194) 75,557

(注) 兼種保安林の面積は、上位の保安林種にまとめて掲上し、下位の保安林種は（ ）上段外書。

自然公園等の面積

区分	自然公園		鳥獣保護区	レクリエーションの森					計
	国立	県立		自然観察教育	森林スポーツ	野外スポーツ	風景林	風致探勝	
面積	17,128	1,017	25,888	185	6	70	5,114	55	5,430
割合	22	1	34						7